

科目名	日本語コミュニケーション (留学生科目)	教員名	ふじた 藤田	まもる 守	開講 コース	作物生産	1年次	後期
<p>・目的と内容</p> <p>要領は「日本語コミュニケーション」に準ずる。基礎的な積み上げにより日常会話ができることが前提であるため、必要に応じて会話・討論・プレゼンテーションなどの練習も予定している。</p> <p>日本語科目は本年度で終了する。2年次には専門科目を履修しなければならないため、日本語力を最大限高められるよう、その点を十分理解して授業に参加するようにすること。</p>								
<p>・授業計画 [単位数：2単位、授業週数：15回]</p>					<p>2コマ連続授業</p>			
<p>[後期]</p> <p>1. 聴解1 応用練習第13日目</p> <p>2. 読解1 随筆文(長文)</p> <p>3. 聴解2 応用練習第14日目</p> <p>4. 読解2 小説文(長文)</p> <p>5. 聴解3 応用練習第15日目</p> <p>6. 読解3 実践問題練習</p> <p>7. 聴解4 応用練習第16日目</p> <p>8. 読解4 実践問題練習</p> <p>9. 聴解5 応用練習第17日目</p> <p>10. 読解5 実践問題練習</p> <p>11. 聴解6 応用練習第18日目</p> <p>12. 読解6 実践問題練習</p> <p>13. 聴解7 応用練習第19日目</p> <p>14. 読解7 実践問題練習</p> <p>15. 中間試験</p>					<p>16. 中間試験の解答と復習</p> <p>17. 聴解8 応用練習第20日目</p> <p>18. 読解8 実践問題練習</p> <p>19. 聴解9 応用練習第21日目</p> <p>20. 読解9 実践問題練習</p> <p>21. 聴解10 応用練習第22日目</p> <p>22. 読解10 実践問題練習</p> <p>23. 聴解11 応用練習第23日目</p> <p>24. 読解11 実践問題練習</p> <p>25. 聴解12 応用練習第24日目</p> <p>26. 読解12 実践問題練習</p> <p>27. 聴解13 応用練習第25日目</p> <p>28. 読解13 実践問題練習</p> <p>29. 期末試験</p> <p>30. 期末試験の解答と復習</p>			
<p>・講義の進め方</p> <p>演習形式で進めていく。このため、新出語句、発音などは十分に準備して望むと効果的である。復習と予習は、テキストのCD音声教材をよく聴き、復唱し、音声から自然な日本語をインプットする方法で、必ず行ってください。日本人と円滑にコミュニケーションをとるためには必須である。なお、当然のことながら授業はすべて日本語で行う。</p>								
<p>・試験と成績評価</p> <p>評価の内訳は、中間試験、期末試験から総合評価する。12月に行われる日本語能力試験を受験することも必須とする。なお、必要に応じてレポート課題を課す場合がある。</p>								
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>予習復習そして暗記が鉄則である。このときは必ず付属のCDを用いること。予習復習そして暗記が鉄則である。1日最低2時間は日本語の勉強時間を確保し、毎日勉強すること。これらは検定合格には必須要素である。演習はそれを前提に行う。日本語能力試験N2またはN1に合格する意志で臨むこと。</p>								
<p>・使用教材</p> <p>教科書：クラスにより異なる。該当する教科書は、後期開始後に購入すること。</p> <p>参考書：特に指定しない。必要があれば授業中に紹介する。</p>								